

キャッチホン

使用説明書

ご利用上の注意

- お話し中に、後からかかってきた電話に応答するため、通話相手の方にお待ちいただいている間の通話料は、
 - お客さまからかけた電話の場合、お客さまのご負担になります。
 - お客さまにかかってきた電話の場合、電話をかけてきた方のご負担になります。
- フックスイッチまたはフックボタンを長く押しすぎると、通話が切れてしまうことがあります。
- お話し中に後からかけてきた方には、呼び出し音が聞こえます。
- 「でんわばん」「ボイスワープ」「トリオホン」等をご利用中に、「キャッチホン」はご利用いただけません。
(お話し中に電話がかかってきても割込み音が入りません。)
- ファクス、ダイヤルアップ接続によるインターネット等をご利用中に信号の割込みがあると画像が乱れたり、切れたりする場合があります。
- IP電話事業者等を経由した通話の場合、本サービスをご利用いただけないことがあります。

お問い合わせ

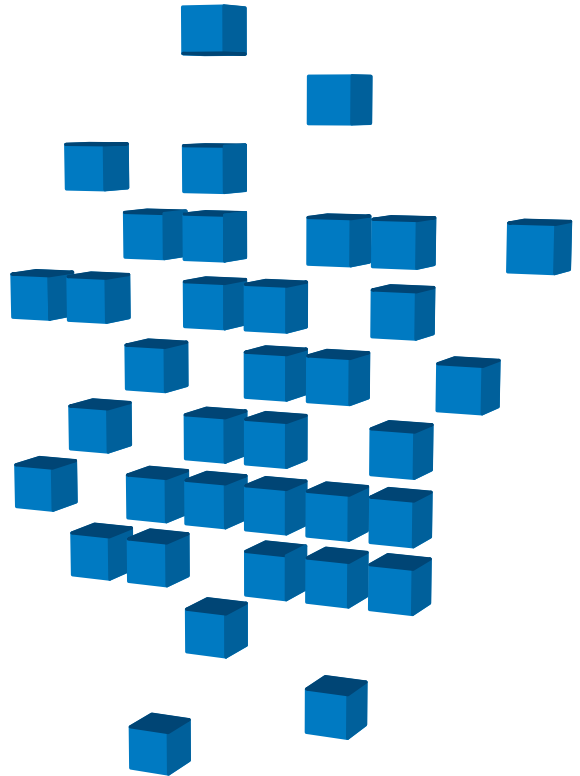
「116」

※携帯電話・PHSからは「0120-116000」

営業時間:午前9時～午後9時 年中無休(年末年始を除きます)

インターネットでも注文受付・情報提供実施中!

(ホームページアドレス) <http://web116.jp/>



ご利用方法

お話し中にお客さまの受話器からキャッチホンの割込み音（ツーツ、ププッ、ププッ…）が聞こえたら

お話し中の通話を終了し、後からかかってきた電話に応答したい場合

受話器を置く

最初の方との通話は終了

お話し中の相手にお待ちいただき、後からかかってきた電話に応答したい場合

フックスイッチを1回押す

最初の方との通話は保留

かかってきた相手とお話しできる

最初の方との通話に戻りたい場合

再度フックスイッチを1回押す

最初の方とお話しできる

※フックスイッチを押すことにより、何度でも通話を切り替えることができます。

通話中に、他から電話がかかってくると

- ① お客さまの受話器から「ツーツ…、ププッ、ププッ…」という割込み音が聞こえます。（後からかかってきた方には、普通の呼び出し音「トゥルル…」が聞こえています。）

お話し中の相手にお待ちいただき、後からかかってきた電話に応答したい場合

- ① お話し中の相手にそのままお待ちいただく了解を得て
- ② フックスイッチ（受話器を置くところ）またはフックボタンを1回押します。（電話機によっては、フックボタンを「フラッシュ」「⑦」等と表示している場合があります。）
- ③ 後からかかってきた電話に応答できます。（お待ちいただいている方には保留音のメロディ等が流れます。）
- ④ 後からかかってきた方とのお話しが終わりましたら、フックスイッチまたはフックボタンをもう1回押します。
- ⑤ 最初にお話しの方との通話に戻ります。

※最初にお話し相手にお待ちいただいている間も、電話をかけた方に通話料がかかります。

お話し中の通話を終了し、後からかかってきた電話に応答したい場合

- ① お話し中の通話を終えて、受話器を置くとすぐにお客さまの電話のベルが鳴ります。
- ② 受話器をとると、かかってきた電話に応答できます。

次のようなときは、他から電話がかかってきても信号が入らない場合があります

- 発信音が聞こえている場合。
- 相手呼び出し中の場合。
- ダイヤル中の場合。
- 110、113、119、104等とお話し中の場合。